【 33 】

氏名	**草 地 省 藏**
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1459 号
学位授与の日付	昭和59年3月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	**右室心筋酸素代謝に関する実験的検討：左室心筋酸素代謝との比較**
論文審査委員	教授 木村郁郎　教授 太田善介　教授 寺本 滋

学位論文内容の要旨

各種負荷時の右室心筋酸素代謝を，同一心において，左室のそれと比較検討した。

麻酔開胸犬を用い，右冠動脈及び左冠動脈前下行枝血流量の測定及び動脈血，前心静脈血，冠静脈洞血各酸素分圧，飽和度の測定より，各心室酸素消費量を求めた。さらに大動脈圧，左室及び右室圧を測定した。

負荷としては，両心室仕事量増加の目的で，心房 pacing,isoproterenol 投与，右室圧負荷の目的で，肺動脈狭窄を，左室圧負荷の目的で，Methoxamine 投与を行った。

以上の実験により，右室と左室との間には，心筋酸素代謝に関して，以下の差がある事が結論された。

1) 無負荷においては，単位心筋当りの冠血流量，心筋酸素摂取率いずれも右室系が左室系に比して低値で，その結果単位心筋当りの心筋酸素消費量は，右室系が左室系に比し，低値であった。

2) 負荷による心筋酸素需要の増大に対し，左室系では，主として冠血流量の増加で応じ，心筋酸素摂取率は変化しなかったのに対し，右室系では，冠血流量の増加のみならず，心筋酸素摂取率の増加も関与した。

論文審査の結果の要旨

本研究は右室心筋酸素代謝について実験的に研究したものであるが，従来十分確立されていなかった左室心筋酸素代謝との比較について，右室系は冠血流量，心筋酸素摂取率いずれも左室系に比して低く，又負荷によって冠血流量の増加の見られる場合右室系

は心筋酸素摂取率の上昇があり，更に又右室系冠血流量は左室と同じく自動調節能があり，酸素消費量は右室仕事量により規定され互いに独立しているなど，重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって，本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。